

國學院大學學術情報リポジトリ

2017年度國學院大學大学院文学研究科と南開大学外国語学院との交流記録

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2023-02-07 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: [南開大学外国語学院東アジア文化研究センター「東アジア文化研究」編集委員会] メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.57529/00001588

2017年度

國學院大學大学院文学研究科と南開大学外国語学院との交流記録

1. 第4回南開大学—國學院大學院生・若手研究者学術フォーラム・

東アジア文化研究国際学術シンポジウムの開催

2017年11月2日（木）から11月6日（月）に南開大学（中国天津市）外国語学院で、第4回南開大学—國學院大學院生・若手研究者学術フォーラム・東アジア文化研究国際学術シンポジウムを開催した。

國學院大學側の準備

國學院大學大学院文学研究科に設置されている国際学術交流委員会の、2016年度第2回委員会（2017年1月18日開催）において、第4回学術フォーラムは南開大学で11月2～6日に開催すること、発表者の公募は平成29年4月から5月連休明けとして、門戸を広げるため第3回発表者以外とすること、発表予定の院生は国際交流旅費補助締切の5月31日締切に間に合うように確定することが了承された。これに基づいて2017年4月13日に文学研究科国際学術交流委員会名で発表者の公募を行った。公募内容は、発表内容は①日中比較文化研究、②日本文化研究（文学、民俗学、歴史学、神道学、宗教学など）、③アジア文化研究とし、発表申込資格は、本学大学院文学研究科在学学生ならびに文学研究科特別研究生で、原則として第3回院生フォーラム発表者以外、発表時間は1名30分、使用言語は日本語・中国語のいずれかとした。

公募によって文学研究科在学学生9名の応募があったが、うち1名は第3回学術フォーラムの発表者であったため、この者を除く8名を発表者とし、5月に国際交流旅費補助の申請を行い、6月に文学研究科の議を経て大学院委員会で旅費補助を行うことが決定された。

この学術フォーラム開催に向けての準備は文学研究科文学専攻の小川直之教授と大学院事務課が行い、発表予定者には発表題目の確認（発表申込時にエントリーされた発表題目でよいかなど）し、発表要旨原稿の提出は9月21日（木）を締切とすることを通知した。発表要旨については、若干の補訂を行い、9月

30日に南開大学外国語学院（担当：王凱副教授）に送付した。

大学院生を引率する文学研究科の教員（金子修一教授、小川直之教授）の渡航費については大学予算、教育開発推進機構の鈴木道代助教の渡航は国際交流旅費補助に拠った。

第4回南開大学—國學院大學院生・若手研究者学術フォーラムの日程と宿泊

①日程

11月2日（木） 羽田空港国際線ロビー7時15分集合 搭乗便NH961便9：25
発 北京首都国際空港着12：35

北京空港から南開大学までは、南開大学手配の専用バス（約
3時間）

11月3日（金） 南開大学外国語学院でフォーラム

11月4日（土） 南開大学外国語学院でフォーラム

11月5日（日） 臨地研修（古文化街、天津天后宮など）

11月6日（月） 帰国 南開大学を10時頃に出発（専用バス）

北京首都国際空港 NH962便15：35発 羽田空港着19：55

②宿泊 天津汇高花园酒店（ファイガオガーデンホテル） 天津市南开区白堤路
236号

第4回南開大学—國學院大學院生・若手研究者学術フォーラムの講演・発表

11月3日

9時30分 南開大学外国語学院による歓迎式典

10時～ 開会式 司会：南開大学・王凱副教授 外国語学院111室
挨拶 南開大学外国語学院院长 閻国棟教授
國學院大學大学院委員長 金子修一教授

10時15分 基調講演 コーディネーター：南開大学・韓立紅教授
國學院大學・小川直之教授

「神話」と神事芸能—神楽にみる天岩屋戸神話—

南開大学・王新新教授

消費される川端康成一『伊豆の踊子』を中心に—

- 14時～ 若手研究者学術フォーラム（1）（30分／名） 外国語学院110室
 コーディネーター：南開大学・王新新教授
 南開大学・王秀芳講師
 在日中国人の言語生活
 南開大学・鄭琳講師
 冷戦期の日本輿論界における中国認識研究（1993—2012）
 —五種類の日本重要総合雑誌の中国関連報道を例に—
- 15時～ 自由討論 休憩
- 15時30分～ 若手研究者学術フォーラム（2）
 コーディネーター：南開大学・劉雨珍教授
 國學院大學・鈴木道代助教
 大伴家持の諸郡巡行歌群における〈属目〉の景
 南開大学・于君講師
 『平家物語』に描かれた武士像—武士間の「つながり」から—
- 16時30分～ 自由討議
- 16時45分～ 総合討議 コーディネーター：南開大学・王凱副教授
- 17時15分～ 総括 コーディネーター：南開大学・韓立紅教授
 國學院大學・小川直之教授 南開大学・王新新教授
 南開大学・劉雨珍教授 國學院大學・金子修一教授
- 17時35分 終了
- 11月4日 院生学術フォーラム（20分／名） 外国語学院110室
- 8時30分～ 院生学術フォーラム（1）
 コーディネーター：南開大学・王凱副教授
 國學院大學・根岸有希子
 獅子・狛犬の成立と史的背景
 南開大学・呉琳
 『平家物語』における漢籍の影響について—『史記』と『漢書』
 を中心に—
 國學院大學・松井真姫子
 寺社を結ぶ竜神行列—現代の地域信仰と祭り—

南開大学・馬蘭蘭

新井白石の天命観—『読史余論』を中心に—

9時50分～ 自由討議

10時20分～ 院生学術フォーラム（2）

コーディネーター：國學院大學・鈴木道代助教

國學院大學・カウシカ

東北地方における餅の習俗—贈答品としての餅を中心に—
國學院大學・源 園江

南西諸島の祭りの変遷—稲の祭りを中心に—
南開大学・周悦

『万葉集』中訳の第一人者—謝六逸—

南開大学・陳茜

『謙齋南遊集』における「謙齋」別号に関する考察

11時40～55分 自由討議

13時30分～ 院生フォーラム（3）

コーディネーター：南開大学・孫雪梅副教授

南開大学・商倩

『儒士』と『豪傑』の衝突—幸田露伴の「運命」を読む—
南開大学・崔雪婷

井上ひさしの作品における一葉像—『頭痛肩こり樋口一葉』
を中心に—

國學院大學・石山奏美 新潟県燕市の天神講について

國學院大學・クマール ヴィカシュ

日本の笑話にみられる身分差

14時50分～ 自由討議

15時20分～ 院生フォーラム（4）

コーディネーター：南開大学・呉艶副教授

南開大学・張永維

『伊勢物語』と『本事詩』の比較研究—「西の対」と崔護の「題
都城南莊」を中心に—

南開大学・王茜

ジェンダーの視点から見る六条御息所のイメージ―「物の怪」
を中心に―

國學院大學・半戸 文

東京の芸妓と花街―1920年代から30年代を中心に―
國學院大學・萩堂あかね

経済小説における「致す」と「申し上げる」について

16時40分～ 自由討議

17時10分～ 総合討議 コーディネーター：南開大学・呉艶副教授

17時25分～ 総括 コーディネーター：南開大学・王凱副教授
國學院大學・小川直之教授 國學院大學・金子修一教授
南開大学・韓立紅教授 南開大学・劉雨珍教授

17時45分～55分 閉会式 司会：南開大学・王凱副教授

國學院大學・小川直之教授

南開大学・王凱副教授

2. 『東アジア文化研究』第3号の編集

國學院大學大学院文学研究科の2016年度国際学術交流委員会第2回委員会(2017年1月18日開催)において、第3回国學院大學・南開大学若手研究者・院生学術フォーラムでの発表を元にして3月15日正午締切で論文投稿を募り、査読を経て刊行することが承認された。これをうけて「東アジア文化研究」編集委員会で、國學院大學、南開大学双方の第3回若手研究者・院生学術フォーラムでの発表者に論文投稿の募集を行った。

投稿論文は、編集委員会の査読を経て印刷所に入稿を行ったが、査読は南開大学側の論文については南開大学の委員、國學院大學側の論文については國學院大學の委員ならびに編集委員会が依頼した教員(豊島秀範教授、矢部健太郎教授)が行った。投稿論文の要旨には日本語と中国語を付けたが、國學院大學側論文要旨の中国語への翻訳は郭楊、石垣絵美が行った。

編集実務は鈴木道代助教が担当し、事務は大学院事務課が行った。発行部数は300部。(文責 小川直之)